

焼き板

横浜市三ツ沢公園青少年野外活動センター



板を焼くだけ？ではありません。焼いた板をタワシや新聞紙でみがくと…、木目のきれいなとってもツヤのある板に大変身！それに絵を描いたり、自然物を貼ったりして、すてきな装飾品を作りましょう！

<対象年齢> 小学校低学年以上
(大人の補助があれば、幼児から楽しめます)

<所要時間> 約2時間

<準備するもの>

平板・たわし(ステンレスブラシや真鍮ブラシ)

①【絵の具(リキテックスまたはペンキ)・絵筆・水入れ】または②【ホットボンド・お好みの枝や木の実】 ・フック・ひも

※新聞紙、軍手は各自準備してください。

<注意点>

◎板を焼きすぎると、小さくなってしまったり中まで炭になったりするのので、板の表面がまんべんなく黒くなったらすぐに火から取り出しましょう。

◎板を磨くときに出るススが気になる人は、マスクをしましょう。

◎火やホットボンドでやけどしないように、気をつけて作業しましょう。



三ツ沢公園では樹名板に使われています



木の実をつけても楽しい。

<作り方>

- ① かまどに火床を作っておく。
(作業：野外炊事場)



- ② 板を火床の中に入れて燃やす。
(作業：野外炊事場)
ガスバーナーを使う方法もあります。



- ③ 板のまわりが全て黒い炭になったら、真鍮ブラシとたわしで燃えた部分をこすり落としていく。(荒削り) 木目がきれいに出てきたら仕上げに新聞紙で手にススがつかず、板にツヤが出るまで磨く。
(作業：野外炊事場)



- ④ 飾り付けは、
ア. 絵の具を使って文字や絵を描く。
イ. 拾ってきた自然物をホットボンドで貼りつける

ア・イのどちらかをび、仕上げにフックとひもをつけたら、素敵な壁飾りのできあがり！

